

畜産ネットワーク ちば

2013年9月19日
第28号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

自給飼料増産に向けて — 安定した酪農経営の実現のために —

千葉県農林水産部 畜産課 課長 松木 英明



千葉県畜産協会の会員の皆様には、日ごろから本県畜産の振興にご尽力を賜り厚くお礼申しあげます。

畜産の現状は、円安等に起因する飼料高騰、海外悪性伝染病への対応、TPP交渉への参加など国際情勢の急激な変化等

不安定な情勢に直面しています。

特に、平成18年まで遡る飼料高騰については、基幹となる国の配合飼料価格安定基金制度の一部改正などで対応されてきたものの、今後も予断を許さない状況です。

県内の酪農については生産量低下が顕著で、平成18年

から農家戸数・乳牛頭数とも減少の一途をたどっています。これも飼料高騰が影響するところが大きいと考えられます。

このような中、県では不安定な飼料情勢に左右されない経営を目指すべく、自給飼料の生産拡大のための施策を展開しています。

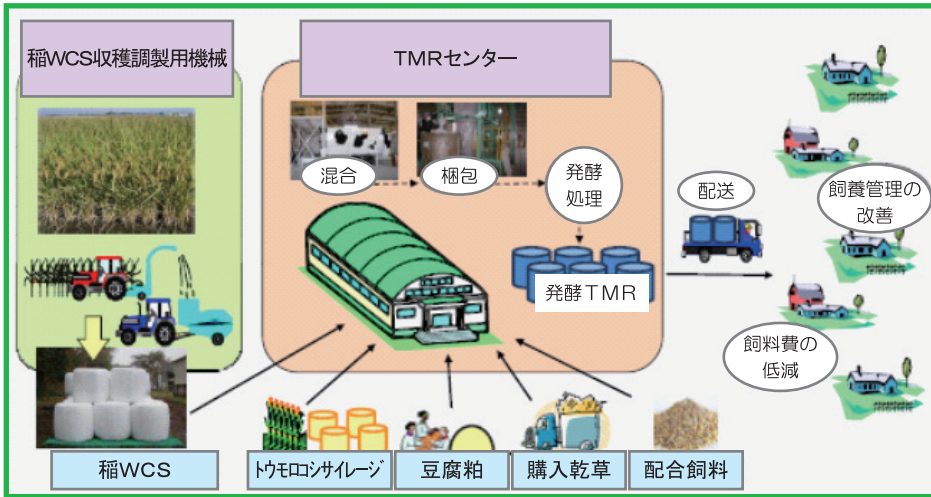
1 コントラクターの育成

本県の酪農経営は、所得確保あるいは生産効率を追求して、規模拡大を進めた結果、自給飼料生産にまで十分に手が回らない経営も少なくありません。このため、県では飼料生産の外部委託を推進するため、飼料生産コントラクターを育成するための支援を実施しています。平成24年度末現在、本県には29の組織があり、飼料生産の作業受託等を主とした活動をしています。

具体例として、本年度国庫交付金を活用して施設整備している香取地域の「ファームサポートかとり(株)」では、WCS用稲を50ha栽培・収穫し、それを基礎としたTMR(完全混合飼料)を製造し、5戸400頭の乳牛に通年で飼料供給する計画としています。

これからの自給飼料生産の優良モデルになるように、大いに期待をしているところです。

(→次頁へ続く)



(香取地域におけるTMRセンターのイメージ図)

もくじ

- ・ 自給飼料増産に向けて…………… (1)
- ・ NPC通信(ナイスポークチバ推進協議会)…………… (8)
- ・ NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信… (2)
- ・ ちば畜産レディースネットワーク会報…………… (10)
- ・ 第7回千葉県畜産フェア…………… (4)
- ・ 平成25年度 千葉県豚共進会…………… (11)
- ・ 平成25年度定時総会開催…………… (6)
- ・ 第40回千葉県種豚オークション…………… (11)
- ・ 肉用牛損害賠償請求…………… (6)
- ・ 肉用牛肥育経営安定特別対策(新マルキン)事業… (12)
- ・ 家畜防疫互助事業の推進について…………… (7)
- ・ 肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業… (12)

**「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを改めて認識してください。**

2 水田の活用

主食である米については、恒常的な需給ギャップがあるため、生産調整により他作物への転換を長年推進してきましたが、湿田の多い本県では転作面積は伸び悩んでいました。

しかし、戸別所得補償制度の定着等により、新規需要米に活路が見出され、飼料用米及びホールクロップサイレージ(WCS)用稲が平成19年度から増加の一途をたどり、平成24年度にはWCS用稲で398ha、飼料米で1,092haの栽培がされるようになりました。

今後も重点的に生産拡大していく作物として、機械整備への支援などを引き続き実施していきます。

3 耕作放棄地の活用

本県の耕作放棄地は増加傾向にあり、平成22年農林業センサスでは17,963haとなっています。

一方、県の調査によると荒廃した農地を復元できる面積は9,990haにのぼり、飼料生産として活用するためにハード・ソフト両面から支援を実施しています。

安房地域の「NFC和田」の例では、県事業である「飼料生産拡大整備支援事業」を活用して飼料生産・飼製用機械を整備しました。平成24年は、53haで飼料を生産し、このうち5haが耕作放棄地の解消

によるものです。

「飼料生産拡大整備支援事業」は、県単独補助事業で、飼料生産用機械導入のための支援です。補助率は耕作放棄地の再生面積に応じ段階的に増加し、1/3以内(畑等0.2以上、又は水田0.1ha以上)、1/2以内(畑等2.0ha以上又は水田0.5ha以上)、2/3以内(畑等5ha以上、水田1ha以上)となっています。

今年度は5市1町(八千代市、佐倉市、八街市、香取市、いすみ市、多古町)で、7組織が事業に取り組む予定です。

コントラクター「NFC和田」による
耕作放棄地の解消(南房総市)



自給飼料の増産は、古くからの課題ではありますが、その時々的情勢に即応しながら解決を求められており、施策面でも柔軟な対応が必要と感じます。引き続き皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1 平成25年度通常総会の開催

平成25年度通常総会が5月23日(木)午後1時30分から千葉市中央区「千葉市生涯学習センター(メディアエッグ)」に於いて会員総数68名のうち、55人の出席(内表決委任者22名)を得て、開催されました。

高梨理事の進行により、香川副理事長挨拶、来賓として公益社団法人千葉県畜産協会新城専務理事、千葉県農林水産部畜産課富田主幹の祝辞をいただいた後、互選により松田副理事長を議長に選任し、1号議案平成24年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録の承認、第2号議案平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認、第3号議案平成25年度会費について、第4号議案役員改選、第5号議案定款の一部改正について審議がなされ、すべての議案は原案通り承認可決されました。

なお、3号議案は平成25年度正会員(個人)の年会費を5,000円とし、入会金は0円とするものです。

また、4号議案では役員改選で、長年理事長を務められた江藤哲雄氏及び樋口勝治理事、木村威監事が退任されることになりました。長年、本NPOの発展に御尽力・御協力を賜り誠にありがとうございました。今後と

もNPOの活動に支援・御協力がいただけるとのことです。

新理事には、内田賢二氏、花澤信幸氏、監事に鶴岡則夫氏が選出され、ただちに開かれた理事会に於いて、理事長松田延儀氏、副理事長に香川莊一氏、高梨勝氏が選出されました。

5号議案はNPOの所在地が地震により千葉県畜産会館が取り壊されることになり「中央区千葉港」から「中央区新宿」に住所の変更に伴う定款の改正です。

平成25年度は本NPO法人として活動を開始してから7年目に入ることから、専門部会に重点を置いた活動を積極的に推進するとともに、(公社)千葉県畜産協会の指導のもとに千葉県農場HACCP推進指導事業や国の公募事業「農場飼養衛生管理強化対策」等の取組みを充実して、家畜飼養、衛生環境等の指導力向上に努めるとともに、畜産経営の向上等に向けての支援をさらに推進します。

また、6次産業化の普及推進や生産者と消費者、学校等との交流事業に参加し、消費者への畜産理解と消費拡大を推進するほか、児童生徒を対象に家畜と触れ合う情操教育の場を提供することとしています。

2 役員会

6月27日(木)午後3時から千葉県庁2階県民活動情報オフィスに於いて千葉県農林水産部畜産課富田主幹、公益社団法人千葉県畜産協会新城専務をお招きし、新しいメンバーによる役員会が開催され、今年度の事業計画や専門部会長、寄付金徴収等の内規等を協議しました。

(1) 部会長等の決定

- ① 企画部会：米倉部長、高梨・唐仁原副部会長
- ② 生産振興部会：内田部会長、染井副部会長
- ③ 衛生環境部会長：唐仁原部長、計良・花澤副部会長
- ④ 調査研究部会：高梨部会長、岡崎・桐岡副部会長、針生相談役

(2) 平成25年度事業

- ① NPOとして「6次産業化ネットワーク活動交付金」に応募することとし、県農林水産政策課とのヒアリングは米倉部会長が中心に取組むこととなり、過日提出しました。政策課からは結果は来ていませんが、実施することとなりましたら皆様の叡智と一層のご協力をお願いします。
- ② 千葉県農場HACCP推進指導事業：本事業はNPO会員の農場HACCP指導員を派遣する業務が中心で、指導員の育成・技術向上に努めています。現在、主に指導現場で活動頂いている指導員は池田、計良、唐仁原、石崎、渡辺、見学、三宅、加藤、薫田等9名です。現在、認証4農場（酪農1、養豚2、採卵鶏1）、推進3農場（酪農1、養豚2）の指導に取り組んでいます。
- ③ 国の公募「飼養衛生管理強化対策」事業は今年度60農場の希望農家を指導することで、詳細は部会で協議・実施することとなりました。

(3) 畜産課との情報交換会及び会員の拡大

畜産課との意見交換会は7月26日(金)実施し、NPOの活動状況や県畜産課の関係事業の実施内容等の説明をもとに意見交換を行いました。

また、会員の拡大については、会員や団体の知人・関係団体等に働きかけをお願いして、広く募る等について話し合い、少しでもできるところから実行して行くことになりました。会員の皆様の御理解・御協力をお願い致します。

3 情報交換会

7月26日午後3時から、県庁本庁舎2階、県民活動情報オフィスに於いて、畜産課5名、畜産協会1名、NPO8名、計14名の出席のもと、松田理事長の進行で、NPOの活動状況と平成25年度千葉県畜産行政の事業計画等について、平成24年度NPOの事業実績及び25年度事業計画(総会資料抜粋)、農林水産省公募事業「農場飼養衛生管理強化対策事業」、6次産業化ネットワーク活動交付金(連携推進事業)実施計画(県公募)について説明するとともに、実施に当たっての畜産課の協力をお願いしました。

また、畜産課からは「平成25年度千葉県農林水産関係施策概要から抜粋」資料をもとに、事業内容の説明を受け、今後のNPOの活動について意見交換を行いました。県からはTMRを実施する中でNPOの活動に期待が寄せられており、また、公募の農場飼養衛生管理強化対策事業については、畜産課・家保と十分調整を図り、取り組んでいくこととなりました。

4 NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンターのページ開設

平成25年7月3日公益社団法人千葉県畜産協会の協力のもと、協会ホームページ内に「NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター」ページを開設しました。

これから、色々な情報を提供して行きたいと思っております。皆様方の御意見・御支援・御協力をお願いします。

以下の順でクリック！

(事務局 薫田)

ちばの畜産ひろば

(公益社団法人 千葉県畜産協会HP)



協会事務局



NPO法人「いきいき畜産ちばサポートセンター」

◎入会申込みや畜産に関するご相談等をお待ちしております。

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局
(公益社団法人 千葉県畜産協会内)

TEL:043-241-1738

FAX:043-238-1255

正会員 72(内、団体10)
賛助会員 2(団体)

次代へつなぐ子供達の為にも安全な精肉を



CHEF MEAT CHIGUSA Co.,Ltd

株式会社シェフミートチグサ

〒262-0012 千葉県千葉市花見川区千種町210-5

TEL: 043-259-3705 URL: www.chefmeat.co.jp/

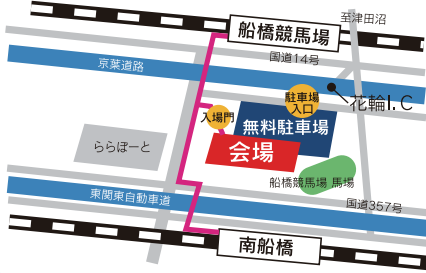
第7回千葉県畜産フェア

★**入場無料**★
10:30~15:00

10月5日(土)は船橋競馬場へ!!

会場／船橋競馬場

電車 京成「船橋競馬場駅」下車 徒歩5分
JR「南船橋駅」下車 徒歩10分
車 花輪I.C.から車で1分/駐車場有
(840台・当日無料)



はしご車や乗馬など普段は出来ない貴重な体験ができるブースや、焼肉、牛乳、はちみつなど地元千葉県産の「美味しいもの」を味わえるブースがいっぱい



千葉の畜産を“食べよう” “話そう” “知ろう”

★千葉県畜産フェア★

食べて応援しよう
がんばろう千葉!!

畜産物・農産物の販売

豚・牛焼肉、豚しゃぶ、焼鳥、フランク、牛乳・乳製品、卵・厚焼玉子、スイーツ、はちみつなど千葉県内でとれた農畜水産物を販売。

畜産フェア大抽選会

畜産フェア内のお店でお買い上げ毎にもらえる抽選券でチャレンジ! 豪華畜産品が当たるチャンス!!

餅つき大会

『大相撲 松ヶ根部屋』力士による餅つき大会。1回目 11:30~ 2回目 11:45~

畜産品争奪じゃんけん大会

力士とじゃんけんして畜産品をゲットしよう! (対象小中学生200名) 整理券配布 11:30~ 1回目 12:30~ 2回目 12:45~

牛のあたたかさにふれあおう!
乳牛の乳搾り体験



ライブステージ①

11:00~ 千葉県畜産女子によるグループ『CowMix』によるステージ。

ライブステージ②

12:00~ 船橋市ご当地アイドル『FACE001』によるステージ。

ライブステージ③

13:00~ 『お肉応援隊』によるステージ。

※販売や抽選など、時間内に終了・売切の際はご容赦ください。お店により、時間を区切り販売するものもあります。

★同時開催★

ふれあい広場

騎手サイン会、乗馬体験、はしご車体験など。



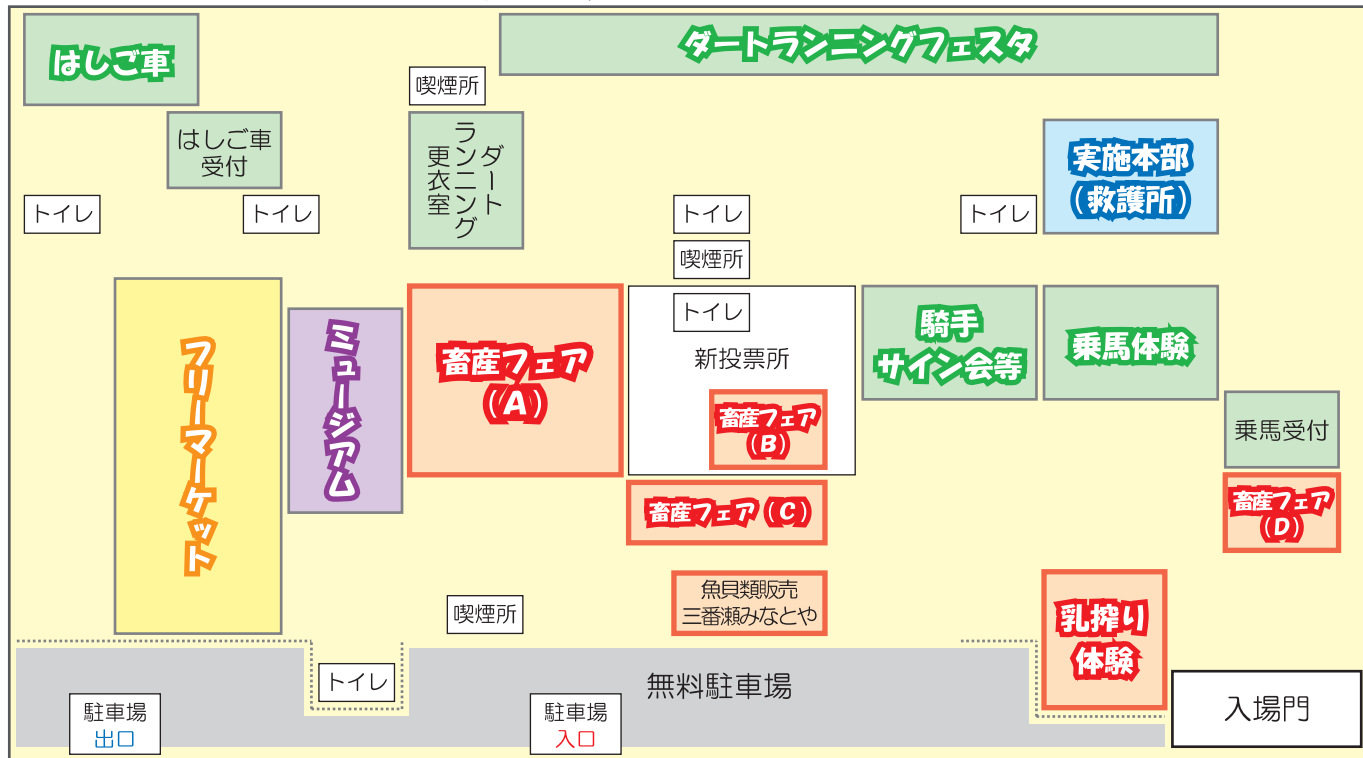
ダートランニングフェスタ

普段は人が入ることができない船橋競馬場のダートコースを走ります。5~7名のチームで走る「21kmダート駅伝」と、個人参加での「ダートレース体験(1,200m)」の2種目があり、参加者の仮装なども見どころ。



- | | | | |
|------------|--|------------|--|
| 主 催 | (公社)千葉県畜産協会
千葉県畜産物消費拡大推進協議会
千葉県畜産フェア実行委員会 | 後 援 | 千葉県
船橋市 |
| 協 賛 | 千葉県酪農農業協同組合連合会
千葉県家畜商協同組合
全国農業協同組合連合会千葉県本部
(株)千葉県食肉公社
千葉県養蜂協会
千葉県農業共済組合連合会
千葉県鶏卵販売農業協同組合
ナイスポークチバ推進協議会
(社)千葉県農業協会
千葉県食肉事業協同組合連合会
千葉県肉牛生産農業協同組合
千葉県酪農農業協同組合
JA東日本くみあい飼料(株)
千葉県北部酪農農業協同組合
キリンビバレッジ(株)
堀江ファーム 林SPF
(一社)千葉県配合飼料価格安定基金協会
NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター | 後 援 | (公社)千葉県獣医師会
ちば畜産レディースネットワーク
千葉県卵業協会
(株)シェフミートテグサ
千葉県牛乳普及協会
房総ポーク販売促進協議会
マーガレットポーク研究会
若潮牛振興協議会
千葉県直ビーフ研究会
千葉県肉牛肥育研究会
食育ネット(株)
船橋市畜産協会
千葉県全日本畜産経営者協会
全国畜産農業協同組合連合会
船橋市漁業協同組合
奈良養鶏
卵の花牛 |

会場案内図



千葉県畜産フェア 場内詳細

<p>(A)</p> <p>千葉県畜産フェア 実行委員会</p>		<p>(株)シェフミートチグサ 【焼鳥試食販売】</p>	<p>千葉県食肉消費対策協議会 【パネル展示・国産肉PR】</p>	<p>(B)</p> <p>千葉県牛乳普及協会 【骨密度測定】</p> <p>NPO法人いきいき畜産サポートセンター 【畜産何でも相談】</p> <p>千葉県畜産課 ナイスパークチバ推進協議会 【畜産展示物】</p>	
		<p>千葉北部酪農農業協同組合 【八千代ビーフランク販売】</p>	<p>卵の花牛 【焼肉試食販売】</p>		
<p>イベント会場 もちつき等</p>		<p>千葉県肉牛肥育研究会 【かずさ和牛 焼肉試食販売】</p>	<p>千葉県卵業協会 【厚焼玉子・鶏卵販売】</p>	<p>(C)</p> <p>食育ネット(株) 【落花生米ふさしがね販売】</p> <p>公益社団法人千葉県畜産協会 【抽選会場】</p> <p>千葉県養蜂協会 【国産はちみつ販売】</p> <p>八千代牛乳 【ミルクプリン販売】</p> <p>ちばフェルミチーズネットワーク 【手作りチーズ試食販売】</p>	
		<p>千葉県酪農農業協同組合 【牛乳・乳製品販売】</p>	<p>投票所(出入口)→</p> <p>千葉産直ビーフ研究会 【しあわせ牛 焼肉試食販売】</p> <p>マーガレットポーク研究会 【焼肉試食販売】</p> <p>ちば畜産レディースネットワーク 【ミルクくずもち販売】</p>		
<p>舞台</p>		<p>千葉県牛乳普及協会 【牛乳・乳製品販売】</p>	<p>投票所(出入口)→</p> <p>牧場アイス 【アイスクリーム販売】</p>	<p>(D)</p> <p>船橋市畜産協会 【牛ふんたい肥 無料配布】</p> <p>※午後2時より</p> <p>千葉県馬事振興協議会 【冊子配布】</p>	
		<p>林SPF 【豚肉試食販売】</p>	<p>若潮牛振興協議会 【若潮牛 試食販売】</p>		
<p>会場案内</p>		<p>麒麟ビバレッジ(株) 【ジュース販売】</p>	<p>堀江ファーム 【畜産加工品販売】</p>		
		<p>房総ポーク販売促進協議会 【焼肉試食販売】</p>			

平成25年度 定時総会開催

平成25年6月24日、千葉市・プラザ菜の花において、公益社団法人移行後はじめてとなる平成25年度定時総会が開催され、平成24年度事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録の承認、役員への補欠選任の2議案について承認されました。

大震災・大津波・原発事故等の未曾有の大災害から2年数か月が経過しましたが、その影響はあまりにも大きく、平成24年度においても、様々な面で引きずっている状況にありました。

高止まり状態にあった飼料価格は世界的な大干ばつ等からさらに暴騰し、急激な円安による輸入飼料、原油、生産資材等の暴騰、不透明な状況にあったTPP参加問題がいよいよ現実的となり、畜産経営者の混迷は深まるばかりでした。

こうした状況に対して、当協会としては、国等の支援対策事業に積極的に取り組むとともに、昨年度に引き続き東京電力に対する損害賠償事務の事務局を務め、迅速・円滑な賠償がなされるよう努めました。

また、国等の事業費削減や事業の仕組みの変更等により、業務運営が極めて厳しいことから、業務の効率的な推進に積極的に取り組むとともに、安全・安心・高品質な畜産物の安定供給のため、畜産経営の安定、生産性の向上、畜産への理解増進等を図りました。(総務課 武田)

公益社団法人 千葉県畜産協会 役員名簿

役職名	氏名	所属団体・役職名等
会長	森 英介	社団法人千葉農林水産統計協会 会長
副会長	奥澤 捷貴	千葉県酪農農業協同組合連合会 代表理事会長
副会長	磯野 光彦	全国農業協同組合連合会千葉県本部 県本部長
副会長	明智 忠直	旭市 市長
副会長	菅澤 勝則	千葉県農業共済組合連合会 家畜部部長
副会長	堀江 光洋	富里市農業協同組合 養豚部
専務理事	新城 恒二	学識経験
理事	野宮 紀昭	千葉県信用農業協同組合連合会 経営管理委員会会長
理事	松木 英明	千葉県農林水産部畜産課 課長
理事	高宮 保之	千葉県肉牛生産農業協同組合 代表理事組合長
理事	石神 嘉明	ちばみどり農業協同組合 常務理事
理事	篠塚 稔	かとり農業協同組合 指導経済担当常務
理事	山根 晃	公益社団法人 千葉県獣医師会 会長
理事	石井 裕	南房総市 市長
理事	蜂谷 良一	千葉県家畜商協同組合 理事長
理事	平野 拓歩	ナイス・ポーク・チバ推進協議会 会長
理事	島田 栄雄	干潟種豚組合
理事	北川 富基	千葉県鶏卵販売農業協同組合 代表理事組合長
代表監事	中村 正博	千葉県農業協同組合中央会 専務理事
監事	斎藤 昌雄	千葉市畜産協会 会長
監事	伊藤 富治	一般社団法人千葉県配合飼料価格安定基金協会 理事長

肉用牛損害賠償請求

肉用牛損害賠償（逸失利益分）の終期決まる！！

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会 会長 山崎 巖

平成25年8月2日、JAグループと東電において終期等が協議され、平成25年9月4日、東電千葉補償相談センターから説明を受け、これを了承いたしました。

1. 肉牛の逸失利益の賠償は平成25年8月31日販売分までとする。
2. 検査費用は平成25年9月1日以降、当面の間従来の取扱いを継続（支払う）する。

また、新たに確定した内容と現在請求中の内容、今後の請求予定は、下記のとおりです。(事務局 武田)

確定済	請求区分	請求対象期間		補償金額	
	第3次請求	平成23年12月～平成24年2月※1		1,017,353千円(最終支払日:平成25年2月21日)	
	第4次請求	平成24年3月～5月※1		671,289千円(最終支払日:平成25年2月21日)	
	第5次請求	平成24年6月～7月※1		324,433千円(最終支払日:平成25年4月2日)	
第6次請求	平成24年8月～9月※1		84,811千円(最終支払日:平成25年8月23日)		
請求中	請求区分	請求金額	請求日	請求者数(会員数)	請求対象期間
	第7次請求	112,417千円	平成25年2月22日	114名(164名)	平成24年10月～12月※1
	第8次請求	56,434千円	平成25年5月22日	99名(164名)	平成25年1月～3月※1
	第9次請求	28,302千円	平成25年8月26日	93名(164名)	平成25年4月～6月※1

※1 未請求分は全ての請求対象、期間が請求可能です。

(注) 第7次請求分の支払いについては、9月下旬合意書発送、10月中の支払が予定されています。

第10次肉用牛損害賠償請求

第10次肉用牛損害賠償請求については次のとおりといたします。

請求対象期間：平成25年7月・8月分

窓口団体への提出期限：各窓口団体が指定する日

東電への請求予定日：平成25年10月20日

支援団体

千葉県家畜商協同組合、千葉県肉牛生産農業協同組合、

一般社団法人千葉県配合飼料価格安定基金協会

[千葉県全日本畜産経営者協会]、横芝光町(東陽食肉センター)、

社団法人千葉県農業協会(肉用牛部会)、株式会社千葉県食肉公社、

県南畜産処理事業協同組合(南総食肉センター)

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会 (事務局：公益社団法人 千葉県畜産協会)

担当：武田・山田・新城

TEL:043(241)1738 FAX:043(238)1255

家畜防疫互助事業の推進について

家畜防疫互助事業（事業実施期間：平成24～26年度までの3か年）は、本年度中間年にあたります。

互助事業対象の口蹄疫が中国、台湾等の近隣アジア諸国で断続的に発生する他、ロシア南部地域やその周辺国でアフリカ豚コレラの発生が見られるなど、我が国への侵入リスクは依然として高く警戒を要する状況にあります。

このため、動物検疫所による水際防疫措置、家畜保健衛生所による国内防疫対策が実施されておりますが、万一の発生に備えて、家畜防疫互助事業への加入が望まれます。

初年度の加入状況は下表のとおり、本県では牛・豚ともに頭数ベースで87%程度にあり、特に肉用牛で高い加入率にあります。全国では牛・豚ともに本県に比べ10%程度低く78%程度にあり、乳用牛で65%と低い加入率にあります。

また、今期の基金設計額は宮崎県で口蹄疫発生に伴い生産者に交付された経営支援互助金交付額を踏まえて、牛で交付金額2,919百万円の57%カバー設計規模、豚で交付金額2,233百万円の34%カバー設計規模にありますが、牛では加入頭数が不足し、生産者積立金額が設計額の75%程度で未達成にあります。

一方、豚では設計額に達成しているものの、牛に比べ設計額が低く抑えられております。互助の理念からも生産者の総意を以て被害農家の支援にあたるのが肝要であり、一人でも多くの生産者に加入いただくよう本互助事業を推進してまいります。

加えて、宮崎県の口蹄疫被害農家に交付された互助金のうち農畜産業振興機構が立替た生産者負担金2,123百万円の返還財源の確保からも、多くの生産者の加入が必要不可欠な状況にあります。（事務局長 榛葉）

😊 未加入や増頭した生産者の皆さん、今すぐ申請・変更手続きをしましょう!!

〈千葉県・平成24年度家畜防疫互助事業加入状況〉

(単位：戸、頭、円)

家畜種類	契約戸数	契約頭数	生産者積立金額	飼養戸数	加入率	飼養頭数	加入率
牛	743	67,614	12,657,320	1,224	61%	76,500	88%
乳用牛	583	30,354	7,094,360	873	67%	37,300	81%
肉用牛	160	37,260	5,562,960	351	46%	39,200	95%
豚	199	567,833	32,507,080	313	64%	657,900	86%
牛+豚	942	635,447	45,164,400	1,537	61%	734,400	87%

〈全国・平成24年度家畜防疫互助事業加入状況〉

(単位：戸、頭、円)

家畜種類	契約戸数	契約頭数	生産者積立金額	飼養戸数	加入率	飼養頭数	加入率
牛	52,759	3,209,004	631,698,535	85,341	62%	4,172,340	77%
乳用牛	12,381	939,564	206,350,430	20,116	62%	1,448,910	65%
肉用牛	40,378	2,269,440	425,348,105	65,225	62%	2,723,430	83%
豚	2,795	7,619,740	442,782,085	5,838	48%	9,734,890	78%
牛+豚	55,554	10,828,744	1,074,480,620	91,179	61%	13,907,230	78%

〈全国・基金設計額と生産者積立額〉

(単位：戸、頭、円)

区分	基金設計額	H24 積立金額	達成率	積立金必要額	備考
牛	839,000,000	631,698,535	75.3%	207,301,465	口蹄疫発生時の57%カバー設計
豚	384,000,000	442,782,085	115.3%		口蹄疫発生時の34%カバー設計
計	1,223,000,000	1,074,480,620	87.9%		

〈前期〈平成21～23年度〉家畜防疫互助事業運用状況〉

(単位：戸、頭、円)

区分	互助金交付額	基金造成額	基金不足額	機構負担額	生産者負担額(機構立替分)
牛	2,918,840,000	262,412,800	2,656,427,200	1,328,213,600	1,328,213,600
豚	2,233,339,000	643,465,030	1,589,873,970	794,936,985	794,936,985
計	5,152,179,000	905,877,830	4,246,301,170	2,123,150,585	2,123,150,585

注：生産者負担額は事業終了時に生産者積立金残額の1/2相当額をもって随時返還する。

瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL : www.zenoaq.jp



N P C 通信

ナイスポークチバ推進協議会



1 平成25年度通常総会開催・新役員が選出される

(新役員一覧)



平成25年度通常総会は、来賓として、国会議員、県議会議員、県（行政、試験研究、家畜保健所）、中央団体、県域団体、賛助会員、生産者会員、総勢147名が出席され千葉市中央区所在のオークラ千葉ホテルにおいて開催された。予定された全議案は原案通り承認された。

平成25年度の主たる事業計画は次の通りである。

- ①会員加入推進 ②政策要請活動 ③消費拡大推進活動
- ④青年部活動の推進 ⑤A Dの清浄化の推進
- ⑥養豚振興プロジェクト委員会の活動 ⑦関東養豚協議会の参加

特に政策要請活動として（ア）差額関税制度の堅持、（イ）TPP参加阻止をJPPAと連携を図り推進していくこと。

また、青年部活動としては厳しい環境を自ら改善するため、ベンチマーキングへの取り組みを積極的に推進することとした。

今回、役員改選年に当たり各地域から選出された候補者が承認され、役員三役が右表のとおり選出された。

《特別講演会の開催》

総会終了後、経済評論家・中小企業診断士・作家 三橋 貴明 先生から『経済記事にはもうだまされない』と題し講演を頂いた。



自民党のTPP反対派は、別に農業利権を守りたいためにTPPに反対しているわけではない。あまりにも広範囲の自由化、規制緩和を一気呵成に実現しようとするTPPについて、「日本の国柄」が壊される可能性があるということで、反対しているのではない。日本ではコメの問題が騒がれていますが、アメリカは本当はコメなんてどうでもいいと思っていますよ。特に彼らが一番欲しいのは医療保険でしょう。TPPによって現在のアメリカのように「自由競争で勝った人は偉い、負けた人は自己責任」という弱肉強食の競争が国境を越えて広く行われることになるわけです。TPPは完全に経済のブロック化です。世界のため、人類のためにも今の流れにストップをかけないといけないと思います。日本は今、「保護主義」に走るべきです。

交渉参加に反対はしない。参加しても国民皆保険制度が守られI SDに合意せず、政府調達や金融サービスについても日本の特性を踏まえることが達成できるのであればと考えるが、もうそれはTPPでも何でもないとTPP交渉への参加を認めぬ内容で講演された。講演後の懇親会にも参加され美味しい豚肉料理を楽しんでいただいた。

2 一般社団法人日本養豚協会（JPPA）通常総会開催

《仮称・養豚振興法の取り込むべき課題が披露される》

一般社団法人日本養豚協会（JPPA）平成25年度通常総会は、平成25年6月19日、東京都内ホテルグランドパレスにおいて、過去最高の300名を超える会員関係者が出席し開催された。ナイスポークチバ推進協議会会員及び関係者52名がこれに参加した。

開会に当たり冒頭、志澤会長から「TPP問題では豚肉が重要5品目に入り関税撤廃の除外とする決議が衆参の農林水産委員会で決議されたが、交渉の中では心配である。豚肉がより強く国際競争にさらされる中、53%の自給率をかりうじて維持している。先週自民党の養豚議員懇話会総会において「養豚振興法（仮称）」の骨子が示され、TPPがどんな形になろうと、次世代に繋げる産業としていかなければならない。社会に期待される産業として確立が急務であり国益にも寄与できる産業として頑張らなければならない」と挨拶。

来賓として、国会から自民党養豚議員懇話会会長大島理森衆議院議員から、養豚振興法について触れ、「参議院議員選挙後に正式に党内の認知を得て、議員立法により秋の臨時国会で処理したい」と挨拶された。

区分	氏名	市町村
会長	平野 拓歩	旭市
会長代理	塩澤 英一	富里市
副会長	北見 則弘	市原市
	岩岡喜久男	旭市
	高橋 守	旭市
	高橋 秀樹	東庄町
	松ヶ谷 裕	旭市
	藤崎 博道	山武市
	飯田 裕一	成田市
理事	穴澤 誠	多古町
	林 浩之	香取市
	大野 等	香取市
	佐藤 正人	香取市
	木内 宏行	東庄町
	清水 慎吾	東庄町
	鶴澤 正彦	銚子市
	渡辺 栄樹	旭市
	島田 武彦	旭市
	日下 義康	旭市
	岩岡 誠治	旭市
	向後 隆輝	横芝光町
	山崎 等	匝瑳市
監事	北田 守	山武市
	渡邊 孝	白井市
顧問	菅井 伸	旭市
	堀江 光洋	富里市
	島田 栄雄	旭市



《「養豚振興法」秋の臨時国会での成立を目指す》

JPPAの要請を受けて自民党養豚議員懇話会が農水省との調整を進めている『養豚振興法』については葉梨事務局長（茨城県選出）から養豚振興法の盛り込むべき項目」として資料が説明された。



「養豚振興法」はプログラム法という形の法律とし、立法府が大きな方向性と大枠を決めておいて、その肉付は一定時間をかけて行政が主体に行っていくと説明。

大きな方向性としては、養豚産業が単に食料を供給するだけにとどまらない幅広い国益に寄与する産業として位置づけ、その方向性に沿った対応をする養豚農家を一定条件の下で認定し、認定農家を支援していくというもので、ここで言う「認定」については、養豚経営安定事業の参加条件程度のことと想定されています。

この点について葉梨事務局長は次の3つを説明。

- ① 飼料米等の国産飼料あるいはエコフィードを積極的に使おうという意欲のある農家はすべて漏れなく認定の対象となるよう考慮していく。
- ② 国内由来飼料を何%使わなければ認定しないという形で生産者を分類するような記述は行わない。
- ③ ただし、10年先を目指し努力目標を個々の農家に持ってもらいたい。

以上の説明の中で、具体的な内容については生産者の意見を聞きながら詰めていきたいとの考えを示された。この説明の中の「国内由来飼料」とは、葉梨事務局長の造語で、現在食品残さ由来の『エコフィード』について農水省は、その原料となる食料の国産比率が低いため「国産自給飼料」とは見なしていません。そこで養豚が多く受け入れるエコフィードを、国産飼料と同等の扱いで評価するのがこの言葉である。

なお、この法律の制定にあっては、畜産経営に関連する既存の法律「家伝法・飼料安全法・家畜排せつ物法」のほか、厚労省や環境省の所管する関連法との整合性をとる必要があると説明された。

《「養豚振興法」（仮称）に盛り込むべき項目について》

1. 法律の目的
この法律は、食の安全・安心の確保、食料安全保障の確保及び循環型社会の形成に資する養豚業の振興を図ることを目的とすること。
2. 「養豚振興計画」の策定
農林水産大臣は、次の事項について定める「養豚振興計画」を策定するものとする。
 - ① 養豚業に係る衛生管理及び環境保全に関する基本方針。
 - ② 国内由来飼料（国産飼料と食品残渣等）の利用増進に関する基本方針。
 - ③ 食の安全・安心の確保、食料安全保障の確保及び循環型社会の形成に資すると認められる養豚農家に係る基準に関する事項。
3. 「養豚振興計画」に定める基準に適合する旨の認定
(1) 農林水産大臣は、養豚農家の申請に基づき、当該養豚農家が「養豚振興計画」に定める基準（食の安全・安心の確保、食料安全保障の確保及び循環型社会の形成に資すると認められる養豚農家に係る基準）に適合する旨の認定を行うことができるものとする。
 - (2) 認定に係る所要の手続きを定めるものとする。
4. 認定養豚農家に係る措置
国は、認定養豚農家について、必要な経営支援を行うとともに、必要な規制改革などの法的措置を講ずるものとする。

3 QVCマリンフィールド in ポーク 2013 盛大に開催 千葉県産ポーク・アピール！！

本拠地対決を鮮明に打ち出したライバルシリーズ、千葉VS埼玉（千葉ロッテ対埼玉西武）の企画で、7月の埼玉西武ドームに続き、9月6～8日はQVCマリンフィールドで開催された。このシリーズでは地元特産品のPR対決もあり、協議会が地元特産品として豚肉をPR。

9月7日（土）厳しい残暑が予想されることから、Tシャツを作成着用した生産者、関係者73名がイベントに参加。今回も集まるファンに対し、千葉県が全国有数の豚肉生産県であることに加え、国産の安全・安心・美味しさに関する情報提供、より養豚に関する認識を高める事を目的として出展した。



午後6時試合開始に合わせ、午後2時過ぎには多くのファンがブースを訪れ、三元豚とは、TPPに関する情報提供に加え、クイズ抽選会では、豚グッズ、豚カレー、焼肉無料券が当たるとあって、アンケート、掲示物を見ながらのクイズに挑戦する姿が多く見受けられた。また、ステージでは小学生を対象とした「焼肉食べて笑顔大賞」が開催され、多くの親子連れに千葉県の豚肉の美味しさをアピールしました。

午後4時過ぎには、焼き肉を求める人達でブースの前は長蛇の列ができ、この機を逃さず、豚関連冊子を配布しながら豚・豚肉談義と消費者との交流を図りました。

球場ロビーでのロッテ選手との記念写真、(株)千葉ロッテマリーンズ代表取締役中村家國氏と接触を持ち、今後ともイベントへの継続参加をお願いした。



入場者数約25,000人入った試合は、井口選手の22号ソロ本塁打で先制したロッテが3-0で快勝。午前中は厳しい残暑を感じたものの、球場の影が長くイベント会場に伸びる頃には涼しさを感じられ、TPP交渉の行方、秋に向けての豚価、飼料価格の動向が気になるところであるが、養豚生産者の熱気で、これらの心配を吹き飛ばそうとの意気込みが天に通じたのか、さわやかな秋の訪れを感じる最良の一日となった。（事務局 加藤）



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第11号



モ〜モ〜フ〜フ〜コケッコ〜



千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。

活動記録

1 総会&紫陽花の宴&情報交換会が開催される。

レディースネットワークの一大行事である「総会&紫陽花の宴&情報交換会」が平成25年6月17日(月)、ホテルプラザ菜の花(千葉市)で盛大に開催されたので、その概要を報告します。

《総会》

会員23名(会員等数58会員)と来賓等14名の出席のもと、役員改選を含む4議案が上程され、いずれも原案どおり可決承認されました。新役員として、堀江昌代会長(養豚・富里市)、尾形玲子副会長(養蜂・館山市)、伊藤睦子理事(酪農・東金市)、佐々木佳代理事(養豚・富里市)、實川恵子理事(養豚・東庄町)ら、理事11名、監事2名が選出されました。

平成24年度の活動は情報交換会、情報発信(会員の活動状況等を畜産ネットワークちばに掲載)、研修会及び千葉県畜産フェアへの出展(「ミルクくずもち」の実演販売等を通して消費者と交流、畜産をアピール)、加えて会員が手作りした畜産加工品を持ち寄り、消費者とともに賞味し、製造や販売方法等について情報交換した。また、畜産後継者の体験談をもとに、後継者問題についても活発な意見・情報の交換が図られました。



(新役員一同)

《紫陽花の宴》

「堀江農場のローストポーク」を始め、「大松農場のオムレツ」等会員の食材等豊富な県産農畜産物を用いた洋食会席料理をビュッフェ方式で舌鼓を打ちつつ、テーブルを囲む参加者の会話も自然と弾みました。



(参加者一同)



(紫陽花の宴風景)

《情報交換会》

参加者全員からの1分間スピーチを皮切りに、話し足りない方からの追加スピーチ、自己紹介から時事問題まで幅広いテーマが取り上げられ、和気あいあいの中にも真剣みを帯びた情報交換会となりました。

2 視察研修会&情報交換会in横須賀

平成25年7月9日(火)、レディースネットワーク初めてとなる県外視察研修会を開催いたしました。

参加者は19名、全国畜産縦断いきいきネットワーク事務局の西銘さんにも参加をいただきました。

当日は好天に恵まれ、貸切バスでアクアラインを渡り、一路横須賀市へ。小泉元首相絶賛の葉山牛を用いたステーキの老舗「三河屋」を貸切り、特上ステーキを堪能、シェフからはステーキの材料の吟味・焼き方に工夫を凝らしていること、また横須賀市で唯一残った関口牧場ではソフトクリームを味わいつつ、



(ステーキハウス「三河屋」前)



(葉山牛サーロインステーキ)



(ソフトクリームでご満悦)

して生き残るコツや6次産業化のノウハウ等含蓄のある話を伺うことができ、農産物直売所「すかなごっそ」では家族への特産みやげの購入等、充実した研修会となりました。

活動予定

1 第7回千葉県畜産フェアへの出展 平成25年10月5日(土) 午前10時30分〜 船橋競馬場

今年も「ミルクくずもち」の実演・販売と会員手作りの畜産加工品等の当たる「くじ引き」を行います。会員等の奮ってのご参加方、よろしくお願いいたします。

2 第3回役員会&情報交換会の開催 平成25年12月3日(火) 午前11時〜 市原市農業センター

会員自慢の農畜産加工品等の賞味&地元栄養士会等との交流・情報交換会を予定しております。(事務局 新城)

会員だより

『畜産レディースに加入して』

長南町 小澤 綾子 (酪農)



畜産レディースに加入させていただき4年になります。会長さんはじめ理事皆さんとても若く、千葉の畜産をとても頼もしく思います。

私は結婚して10年間船橋で牛を飼っていました。昭和46年、家族5人と6名の酪農家族と一緒に、長南町酪農団地に移住しました。

国、県、町の補助金を頂き、大きな借金をして、7軒の酪農家が力を合わせ、無我夢中で、25年間で返済しました。これも農協始め各行政機関のお力添えがあったからと、感謝しております。丁度世の中が、オイルショック後の高度成長の時でありましたので、幸いでした。

3人の子供も結婚して孫2人ずつ授かり6人おります。長男は銀行員、次男は牛が好きで家に住み、保険の仕事をしなが、酪農の仕事をしていました。

主人が69歳となり仕事が大変となりましたのと、孫の子守のため私が搾乳の仕事をやめたため中国の研修生を雇い、私は新たにパソコンを習い経理の仕事を受け持ちました。

10年前より長南町の「生活改善グループ連合会」の会長を頼まれ、いろいろなイベントに参加していました。「連合会」が高齢化のため解散となったため、新たに若い人を仲間に加え、「アグリライフ長南」と改めて3年半前発足しました。

その時、我が家の子供部屋を改造して小さな加工場をつくりました。

一昨年10月に船橋の競馬場で、「千葉県畜産フェア」が行われ、ちば畜産レディースのメンバーで「ミルクくずもち」を作り販売しました。

とてもおいしく評判が良かったです。

早速、毎年11月3日に長南町で行われる農林業祭に、「アグリライフ長南」の会員の皆さんで「ミルクくずもち」を作り販売しました。大好評でその後、町のイベントがあるたびに販売しています。

長南町の名産品となったら素晴らしいと思います。

酪農の仕事はとても厳しく大変です。私は3年前に、主人は2年前に次男に一切をやっと任せることができました。後継者を育てることができたことは良かったと思います。すっかり肩の荷が下りました。

これからは体に気を付けて楽しい人生にしたいと思います。

平成25年度 千葉県豚共進会

【肉豚の部】

会期：10月1日(火)開会・搬入 / 2日(水)審査 / 3日(木)展示講評(11時～)
会場：(株)千葉県食肉公社(旭市鎌数) 出品：320頭

【種豚の部】

会期：10月30日(水)開会式・審査(午前9時～) 褒賞授与式(午後3時～)
会場：JA全農ちば八街家畜市場(八街市八街一本榎) 出品：40頭

◎肉豚・種豚共進会開催時、それぞれ勉強会を併せて予定しています。

第40回千葉県種豚オークション

開催日時：10月30日(水) 13:30～ (共進会 種豚の部と同時開催)

出品：L・W・D及びF1 40頭(共進会出品豚)

皆様のご来場お待ちしております。(生産課 金杉)

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>



肉用牛肥育経営安定特別対策（新マルキン）事業

◎肥育牛補てん金単価について【平成25年7月】

毎月払いが継続して実施されておりますので、引き続き販売報告の漏れがないようお願いします。（企画課 小倉）

1 補てん金単価と算定

（単位：円／頭）

区分	肉専用種	交雑種	乳用種
平均粗収益 (A)	929,730	560,881	341,769
平均生産費 (B)	882,754	642,688	395,784
差額 (C)=(A)-(B)	46,976	△81,807	△54,015
補てん金単価 (C)×0.8	-	65,400	43,200

2 補てん金単価の推移

（単位：円／頭）

区分	肉専用種	交雑種	乳用種
平成25年6月	-	35,200	45,700
平成25年5月	-	33,900	56,000
平成25年4月	-	38,700	63,900
平成25年3月	-	45,800	65,600

※:100円未満切り捨て

- | | |
|---|--|
| ①販売確認申出書は販売月翌月の20日までに各事務委託先に提出(厳守)。
②出荷時には即家畜改良センターに転出届の手続きをして下さい。
(届のない牛は補てん金の対象外となります。) | ③乗遅れの補てん金交付はいたしませんので漏れのないようご注意ください。
④全国の補てん金価格の公表は販売月の翌々月の上旬となります。
⑤補てん金交付時期は販売月の翌々月の22日位を予定しています。 |
|---|--|

肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業

平成25年度第1四半期（平成25年4～6月）に係る指定肉用子牛の平均売買価格及び補給交付金・肉用牛繁殖経営支援交付金の単価については下記のとおりとなります。（生産課 飯沼）

【肉用子牛生産者補給金制度】平均売買価格及び補給金単価

（単価：円／頭）

区分	品種	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
	保証基準価格		320,000	292,000	209,000	122,000
合理化目標価格		273,000	251,000	144,000	86,000	142,000
25年度第1四半期	平均売買価格	471,400	411,100	244,000	120,300	265,000
	補給交付金単価	-	-	-	1,700	-

【肉用牛繁殖経営支援事業】支援交付金単価

（単価：円／頭）

区分	品種	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
発動基準価格		410,000	370,000	270,000
25年度第1四半期	支援交付金単価	-	-	19,500

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

部署		TEL	FAX	メールアドレス
総務・企画部	総務課	043-242-5417 (代)	043-238-1255	info@chiba.lin.gr.jp
	企画課	043-242-6333		ogura@true.ocn.ne.jp
事業部	経営・環境課	043-241-1738		okuzumi@swan.ocn.ne.jp
	衛生指導課	043-241-1738		chieishi@aiores.ocn.ne.jp
	生産課	043-241-3851		kanasugi@np-chiba.jp
URL http://chiba.lin.gr.jp				